

食あたり

患者様情報

来院されるまでの症状

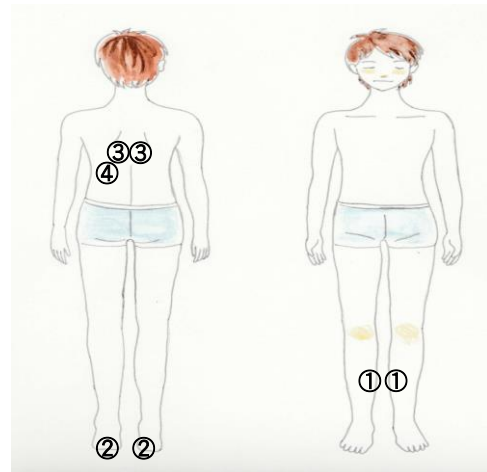
- ・2週間に1度、腰痛の予防で定期的に来院されている患者様です。
- ・来院される週の初めに、油の多い夜ご飯を召し上がったあと、突然下痢と嘔吐の症状を発症しました。その日から2～3日間ほど下痢、嘔吐を繰り返してしまったようです。
- ・元々、胃腸は弱めな体質です。

患 者 様	50 代 男 性
初 診	2021 年 3 月
既 往 症	高血圧・ピロリ菌・ヘルニア(腰椎4・5)
他 の 症 状	腰痛・アトピー性皮膚炎

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・全体的にお腹は冷えており、力がないように感じました。
- ・元々、アトピーで特に手先と、膝から下が赤く痒くなりやすいです。しかし、この日は顔（おでこ）の湿疹が特に目立ちました。
- ・顔（おでこ）は東洋医学で「脾」の症状がしやすい箇所になります。「脾」が正常に働いていないと、腹痛、下痢などの消化吸収の異常が生じてしまいます。
- ・この日は「脾」が正常に働いていないと判断し、胃腸の回復に努めました。まだ便は緩めとの事でしたので、下痢止めに効く「地機」に優しいお灸と、食あたりに良い「裏内庭」にお灸の熱さを感じるまですえました。腰背にも胃腸にまつわるツボがあります。「胃脘」「痞根」を中心に鍼で優しく緩めていくように治療いたしました。



■ 初診後の経過

- ・その日の治療を終えると、お腹が空いてきたかもとおっしゃっていただきました。
- ・しかし空腹を感じていても、胃腸は本調子ではないと思いますので消化に良い食べ物を摂るようにお伝えさせていただきました。
- ・治療を受けて二、三日後には普通の食事に戻れたそうです。

使用した主要なツボ

- ①地機（チキ） ②裏内庭（ウラナイテイ）
- ③胃脘（イユ） ④痞根（ヒコン）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・経絡治療ではお腹付近のみならず、胃腸に有効なツボは手や足、背中、腕にもございます。
- ・腰痛かと思ったら内臓からくる腰の痛みだったり、腰痛だけでもたくさんの原因が考えられます。
- ・鍼には刺すだけで胃腸が良く動いたり、落ち着いたり、消化吸収を促したり、食欲増進させたりなどさまざまな効果が期待できます。
- ・経絡治療で根本から身体のバランスを整え、食をはじめ、あらゆる趣味嗜好を楽しんでいただけるよう、症状の予防、改善、身体のメンテナンスなど手助けできましたら嬉しいです(*^^*)